



SAPサービスまるわかり インテリジェントエンタープライス プロジェクト編

世界をひとつに

Fit to Standardアプローチによるグローバルテンプレート構築

野口 若菜, SAPジャパン
2021年6月4日

PUBLIC

SAPサービスまるわかり インテリジェントエンタープライズ プロジェクト編

お客様・パートナー様がすべきこと、SAP サービスがご支援できること

#	日程	セッション名
1	5/28 (金)	カスタムコードの管理コストも障害も劇的に減らしたい！ SAPが提供するツールをベースとしたカスタムコード管理サービス全体の概要紹介
2	6/4 (金)	世界をひとつに —Fit to Standardアプローチによるグローバルテンプレート構築— Enterprise Management Layerを活用したSAP S/4HANAのグローバル展開を迅速に推進する方法
3	6/18 (金)	複雑化するシステム構成を何とかしたい！データ連携のポイントとは？ クラウドとオンプレミスのハイブリッド環境におけるデータ連携の解説
4	6/25 (金)	収集データが鍵！見落としている宝の山はありませんか？ 収集データを、着目する視点の切り口を変えることにより、システム効率化に活用する方法の解説
5	7/16 (金)	セキュリティ？ SAP でできることあるの？と思われていませんか？あるんです!! SAP としてのセキュリティの重要性、および基本的かつ重要な設定・機能を解説

はじめに

近年、日本企業の海外拠点のビジネスプロセスやシステムの共通化・標準化の取り組みが盛んになってきていますが、SAPではそういった取り組みに対し、SAP Best Practiceをベースとして最大43か国の設定を事前に有効化してご提供可能なサービス（Enterprise Management Layer）をご用意しています。本セッションではEnterprise Management Layerにより事前定義プロセスを最大限に生かすFit to Standardアプローチによるクイックなグローバルテンプレート構築及びグローバル展開を実現する方法をご紹介します。

本日のAGENDA

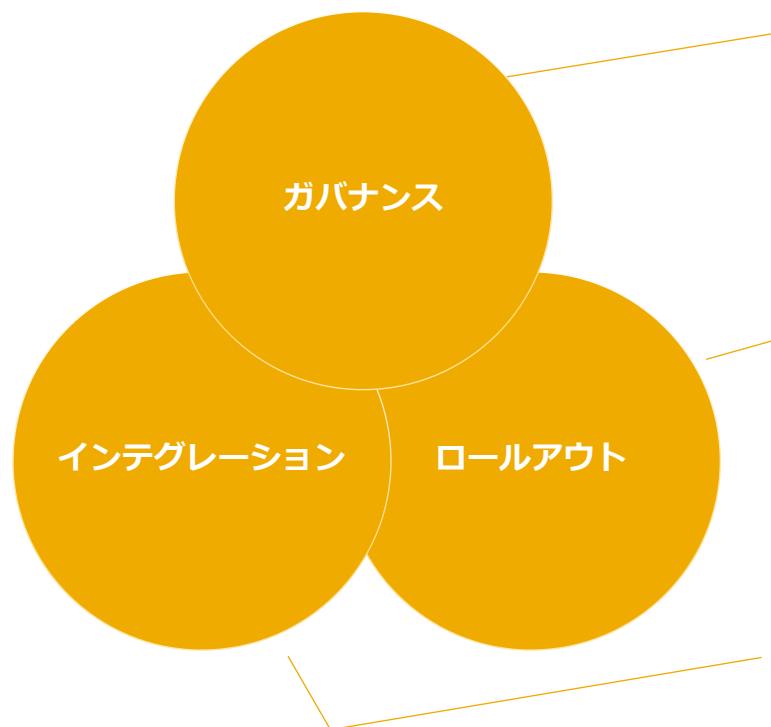
1. グローバルテンプレート構築プロジェクトの最終目的、キーポイント、ベネフィット、必要条件
2. SAP S/4HANA Enterprise Management Layer概要
3. Fit-to-Standard 分析/設計アプローチ

グローバルテンプレート構築プロジェクトの 最終目的、キーポイント、ベネフィット、必要条件



グローバルテンプレート構築プロジェクトの最終目的、キーポイント、ベネフィット

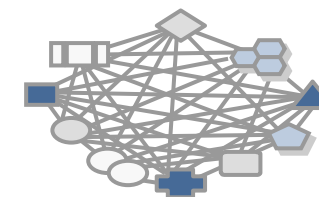
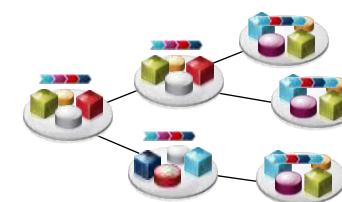
SAPの導入効果を最大化するためにはグローバルでの統一システムや統一運用ルールを設けることが必要です。ただし、プロジェクト難易度が非常に高く、その遂行には強力なガバナンス体制と現状を見極めた上での着実なプロジェクト計画及びその実現化能力が求められます。



- 標準化プロセスの徹底
- チェンジマネジメントの推進
- グローバルレベルでのシステム統制
- マスタ運用の集中管理

- 国要件/法要件のヒアリング/個別対応
- 繰り返し実施されるリグレッションテスト・インテグレーションテスト
- 各拠点でのシステム/業務/データ移行
- 世界各拠点のユーザー教育

- 既存SAPシステムとのシステム連携
- レガシーシステムからの順次移管
- 複雑なインターフェース
- S/4HANAへのアップグレード対応



グローバルテンプレート構築プロジェクトの最終目的、キーポイント、ベネフィット

目的	キーポイント	グローバルテンプレートによるベネフィット
グローバル経営の視点		
• グローバルに製品・システム・サービスを提供する仕組み	• グローバルレベルで一貫性のある経営情報の提供 • タイムリーで的確な経営情報の提供	• 同じ粒度/精度の情報をリアルタイムで収集/分析する仕組みをロールアウトすることにより、グローバルレベルでの経営の迅速な舵取りが可能になる。
事業の視点		
• 事業シナジーの促進 • 事業ポートフォリオの強化	• 事業横串の業務標準化 • プロセスの見える化	• 業務の標準化、プロセスの見える化により、会社経営の全体最適なオペレーションが可能になる。
システムの視点		
• 情報システムの基盤整備と運用の効率化	• 同一SAP基盤（S/4HANA）の適用（移行）による運用の標準化・効率化 • 保守運用の集中管理	• 全社共通のプラットフォームを使用することにより、保守運用コストを抑制し、運用の効率化が図れる。

テンプレートを構築することで統一されたコントロールの効いたシステムを効率的に横展開し目的を達成

グローバルテンプレートの必要条件

業務の標準化

テンプレート対象業務を選定しあるべきプロセスに統一・標準化するため社内ルール、業務を見直す

展開先のローカル要件までテンプレートに盛り込むことは理想的ではあるが限界があるため、標準化するものとローカル対応とするものの切り分けが必要

データの標準化

データ・コード体系を標準化することによりシステム運用性や全体整合性保持の要求に対応する

組織構造はのちの組織変更等に耐えられるような考え方で定義する

グローバルグループ全体の姿を想定して組織およびマスタの設定方針を定義する
統一マスタ例：勘定コード・品目コード

多言語対応

英語をベースに多言語で関連文書の用意およびシステム設定しておくことにより国外法人展開の加速化が可能になる

ユーザの視点

テンプレート対象業務をあるべきプロセスに統一・標準化することが重要であるが、各業務領域の職務が遂行できないようなプロセスが展開されるという結末にならないよう業務ユーザの巻き込みは不可欠である

追加開発を極小化

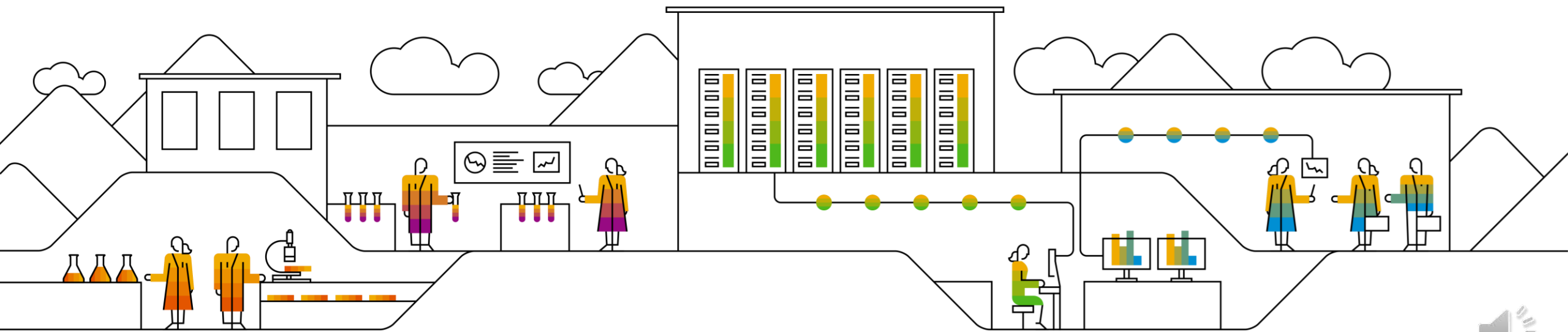
日本発のテンプレートは多くのアドオンを実装しているケースが多いが海外発のテンプレートはほとんど標準機能で構成されている

完璧を求めてアドオンの塊になったシステムにより事業環境変化にスピーディに対応できなくなることを避ける

ガバナンス

ローカルで設定変更を行わなければならないケースに備え、ステアリングコミッティを設置するなどして変更に対する判断および管理を行うプロセスを定義しておく

SAP S/4HANA Enterprise Management Layer概要



Time to Value（価値認識までの時間）は、デジタルトランスフォーメーションを成功させるためのキーポイント

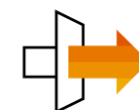
課題

- エンドツーエンドのスコープが必要
- システムランドスケープコストが高い
- S/4HANA バージョンおよび新機能のアップグレードへの対応
- 事前定義コンテンツを使用しないグリーンフィールドアプローチは煩雑でコストがかかる
- ソリューションのシンプル化

ソリューション

- 拡張コンセプトに基づく統合ランドスケープ
- ソリューションとその導入のためのプラグアンドプレイアプローチ
- エンジニアリングツール（BC セット、eCATT）の自動化
- 資産ライフサイクルの厳格なガバナンス
- 段階的な変革

成果



お客様向けのエンドツーエンドの変革アクセラレータ



運用コストでのフットプリントの削減



パートナーエンゲージメントによるスケーリング（拡張性）が可能



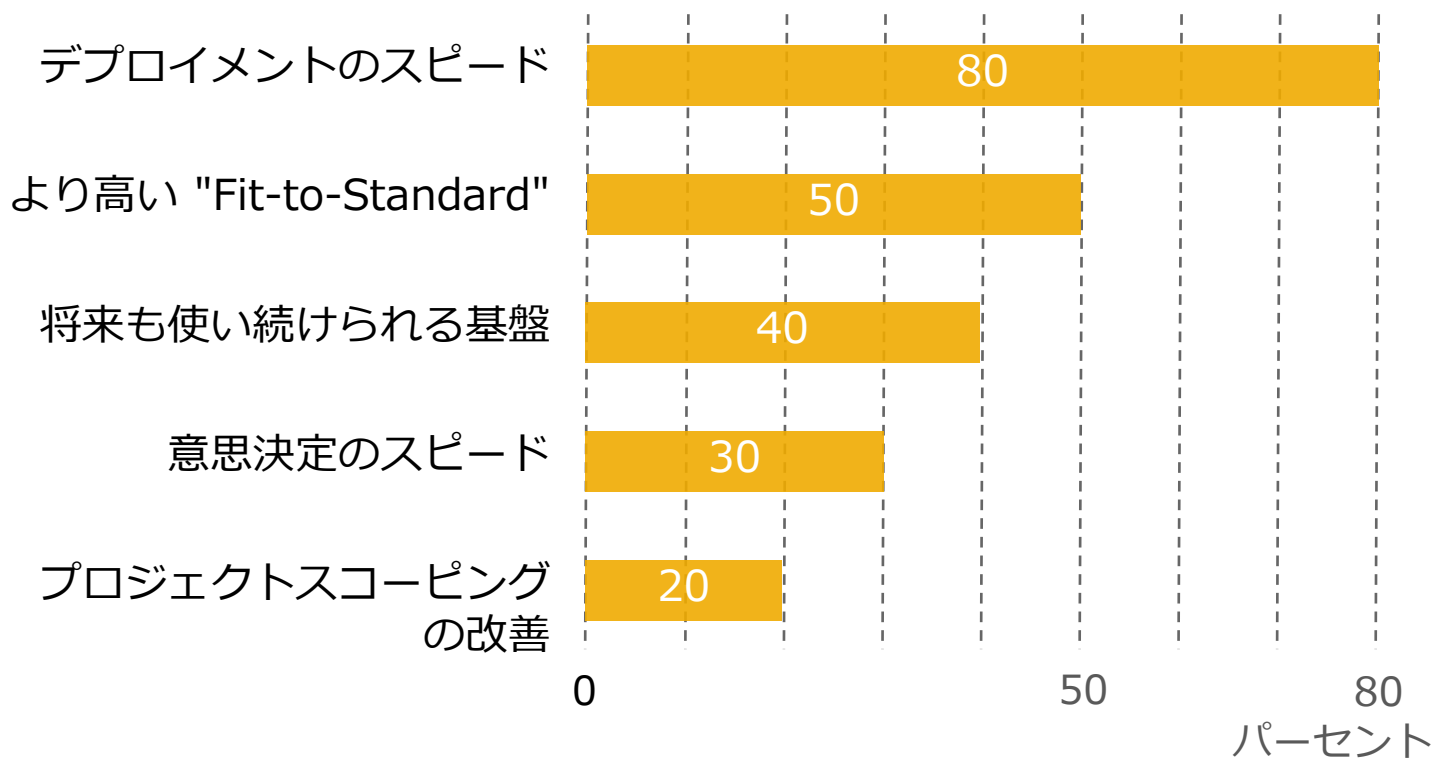
ライフサイクル管理の改善

Gartner 社による顧客調査

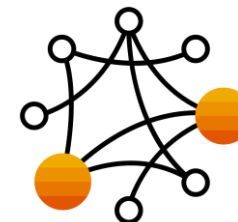
Model Company for Multinational Corporations の
最新版がEnterprise Management Layerです。

「SAP® Model Company を使用してどのようなメリットがありましたか？」

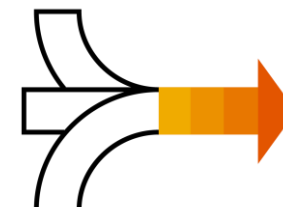
導入されたお客様の主なメリット



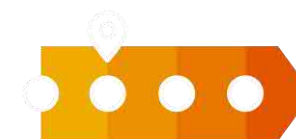
レポートを読む



複雑さの軽減



ビジネスの俊敏性



迅速なプロジェクト

価値実現までの期間の短縮

ブループリント

最大 **90%** の削減
モデル化されたベストプラクティス
プロセスを始めとした業界固有設計
の参照



実現化

最大 **50%** の削減
ベストプラクティスプロセスの
設定と文書の活用



テスト

最大 **30%** の削減
テストケーステンプレートお
よびオペレーションサポート
テンプレートを使用



従来のアプローチ

準備

ビジネス設計

構築とテスト

テストと
ゴーライブ

テンプレートベースの アプローチ

準備

評価

実現化

デプロイ

最大 30% 削減





ユースケースおよび優先度に沿って選択

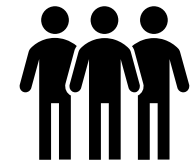
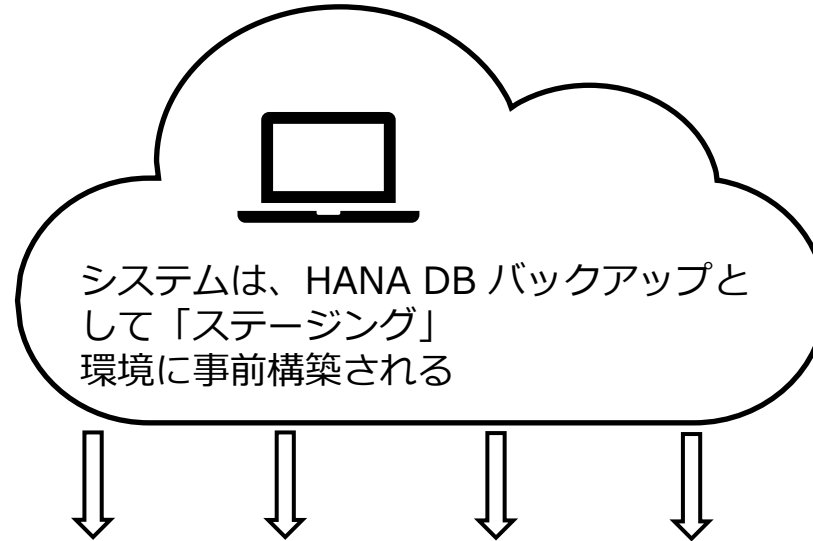
各システムは、（質問表に基づいて）顧客の要件に従って構築される：

- ✓ 国範囲
- ✓ グループ通貨
- ✓ 会計年度バリエーション
- ✓ オプションのスコープアイテム

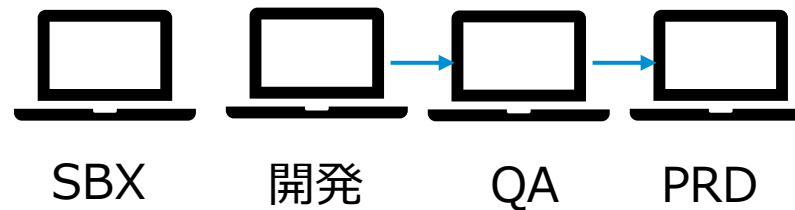
プロジェクトをジャンプスタートするために、複数のクライアント* を使用することができます。

クライアント *	目的
010	BI 技術設定
050	バックアップ
100	Fiori インタフェースによるテスト/チェック
400	開発 (マスタデータなし)

* クライアント設定は、クラウド向け SAP Golden Rules に従った SAP Best Practices の "ホワイトリスト" アプローチに基づいています。



プロジェクトチームは、（依頼に応じて）ステージングエリアでシステムにアクセスすることができます。



カスタマランドスケープ

SAP 管理アカウント/HW

SAP HANA Enterprise Cloud

顧客が所有/管理

クラウドホスティング

アマゾン ウェブ サービス
Microsoft Azure
Google Cloud Platform

オンプレミス



グローバルテンプレート構築の基礎となるサービス

Enterprise Management Layer

ビジネスコンテンツ



- 43 カ国
- **SAP Best Practices 2020 (オンプレミス)** のビジネスコンテンツ
- **標準スコープ** (追加ライセンスやインターフェースは不要)
- **グローバルオペレーション**およびローカル要件向けに拡張されたコンテンツ
- **25** のシステム言語

ユーザインタフェース



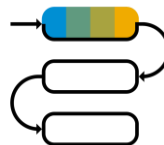
有効化済み組込 **Fiori** アプリケーション

文書



- Solution Manager から利用可能な SAP Best Practices の**文書**
- **Enterprise Management Layer固有の追加された文書**

スコープ拡張のオプション



- **標準からの追加** SAP Best Practices スコープアイテムの有効化
- **EML固有拡張の追加** SAP Best Practices に加えて追加ビジネスプロセスの有効化



Enterprise Management Layerのコンテンツ概要

Enterprise Management Layerは、SAP Best Practices オンプレミスの国別バージョン（43カ国）をベースとしたすぐに実行できる環境を提供します。このグローバル設定は、多国籍企業向けに特別に開発され、コストの削減、リスクの軽減、発見、評価、および導入活動時の採用促進に役立ちます。※()内の数字はシナリオ数です。

ビジネスプロセス機能

財務

- 会計管理および決算処理（19）
- コスト管理および収益性分析（8）
- 企業リスクおよびコンプライアンス（4）
- 財務業務（10）
- 財務/資金管理（基本）（3）

資産管理

- 保全管理（3）

販売

- 受注および契約管理（35）
- セールスフォースサポート（1）

サービス

- サービスオペレーションおよびプロセス（3）
- サービスマスタデータおよび契約管理（2）

製造

- 生産エンジニアリング（2）
- 生産作業（18）
- 生産計画（3）
- 品質管理（9）

ソーシングおよび調達

- 請求書管理（2）
- 消費財調達（14）
- 調達分析（2）
- ソーシングおよび契約管理（2）
- サプライヤ管理（3）

サプライチェーン

- 在庫（5）
- 倉庫管理

研究開発・エンジニアリング

- 製品エンジニアリング（4）

データベースおよびデータ管理

- エンタープライズインフォメーションマネジメント（3）

テクノロジー

- SAP S/4HANA® 2020
- SAP Fiori® のユーザエクスペリエンス（組込）
- アドビドキュメントサービス
- Web ディスパッチャ

サービススコープオプション（40）

- 実際原価計算
- 拡張資金管理
- 拡張コンプライアンスレポート
- 拡張未収金管理
- 契約およびリース管理
- グループレポート
- 倉庫管理
- 拡張 ATP
- 拡張バリエーション選定
- 拡張生産計画および日程計画
- 契約管理

サービススコープの拡張（15）

- パラレル会計
- 会社間プロセス
- 会計のプロジェクトシステム



事前設定済みソリューション

- S/4HANA 2020（オンプレミス）に基づく
43 の SAP Best Practices 国別バージョンに対して事前有効化
- アプライアンスとして利用可能：（お客様のランドスケープにインポートされる）データベースバックアップ、または SAP Value Prototyping によって一時的にホストされるデータベースバックアップ



ビジネスコンテンツおよびアクセラレータ

- ビジネスプロセス文書
- デモおよびテストスクリプト
- 設定文書
- How-to ガイド

検討のタイミング

特定のユースケースに対する包括的な SAP ソリューションの機能の評価
イネーブルメント、Fit-to-Standard 分析、およびソリューション設計のためのシステムのデモンストレーション

初日から実践的な経験を積み、俊敏で無駄のない国際的な導入アプローチをサポート
IT およびビジネスにおけるリソースのボトルネックに対処し、時間と労力を削減する方法を調査する

利点

すぐに実行できる事前設定済みのソリューションにより、コストとリソースの労力を削減
実証済みの参照ソリューションアーキテクチャーと包括的なプロセスサポートによるリスクの排除
俊敏で無駄のない原則により、価値実現までの時間が短縮され、イノベーションの導入が増加
迅速なイネーブルメントとエンゲージメントの向上

参考資料

[SAP ベストプラクティス](#)



SAP Best Practices Explorer

Browse Packages / SAP S/4HANA / On-Premise /

SAP SAP Best Practices for SAP S/4HANA (on premise) USA, SAP S/4HANA 2020

Description:
Accelerate and simplify the path to SAP S/4HANA (on premise) for faster time to value with SAP Best Practices that are tailored specifically to simplify the adoption of SAP S/4HANA.

Version:
USA, SAP S/4HANA 2020

Language:
English

Filter Scope Items by Name and Description

Overview Solution Scope Accelerators Find Out More

Scope Item Groups

Line of Business

Name	Description
▼ Finance	Achieve excellence in financial management & accounting with regulatory compliance and improved margins. Achieve instantaneous financial insight at any time, from anywhere using best practices and machine learning automation, in place of excel.
▼ Accounting	Accounting and Financial Close (J58)

Accounting and Financial Close (J58)

This scope item provides a comprehensive overview of external accounting and accounts.

個々のスコープアイテムは、'ソリューションスコープ' にあります

任意の国を選択します

デフォルトビューでは、すべてのスコープアイテムが以下のような事業部門別にグループ化されます。

'スコープアイテム一覧表示' に切り替えることで、国ごとに利用可能なスコープアイテムの一覧を照会することができます

Enterprise Management Layer は、**SAP S/4HANA 2020 の SAP Best Practices** (オンプレミス) に基づいています。

次のページに一覧表示されているすべてのスコープアイテムの詳細情報を確認できます。

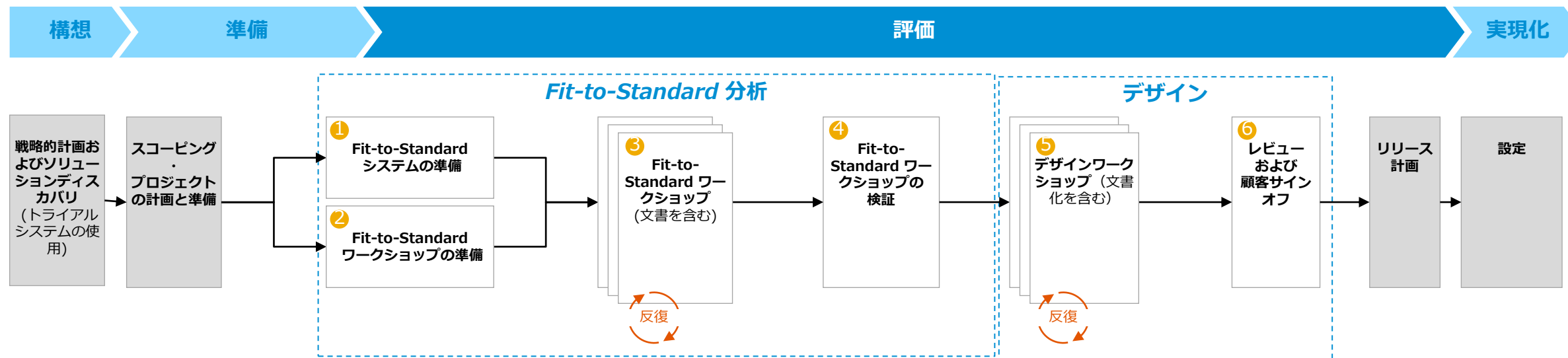
[SAP Best Practices Explorer](#)

Fit-to-Standard 分析/設計アプローチ



Fit-to-Standard 分析/設計アプローチ

– すべての SAP クラウド製品およびオンプレミス製品に有効



備考:

①

- 事前設定済みシステム：クラウドスターターシステムまたは Enterprise Management Layer または SAP Best Practices が有効化されたシステム
- 必要に応じた追加のカスタマ固有データによる拡張

②

- Fit-to-Standard ワークショップの計画 (コンテンツ、発表者、参加者、時間、場所など)
- 事前設定済みシステムでの関連プロセスのテスト
- ツールとテンプレートの定義
- ワークショップ参加者に対するソリューションセルフイネーブルメントの開始
- 顧客へのシステムアクセスの確保

③

- テンプレートのプロセスレビュー、ソリューションデモ、および Fit-to-Standard アプローチに基づくデルタ要件のディスカッション
- バックログ内のデルタ要件の文書化
- ワークショップを成功させるための事前の知識習得
- 必要に応じた複数回のワークショップ

④

- すべてのバックログ明細 (およびデルタ要件) のレビューおよび完全性チェック
- 不足しているデルタ要件に対するバックログの再チェック
- 合意された基準 (ビジネスバリュー、重要度など) に基づく優先順位付け
- デザインワークショップで検討する必要がある要件の決定

⑤

- 設定および WRICEF オブジェクト (ワークフロー、レポート、インターフェース、変換、拡張、フォーム) の設計ワークショップおよびソリューション設計文書
- 選択された要件について：考えられるソリューション代替案の議論と評価、それに続く設計決定

⑥

- デザインワークショップからの情報によるバックログの更新
- 機能設計書・仕様書の見直し
- 顧客のサインオフを使用した承認手順

ワークショップスケジュール

サンプル Fit-to-Standard ワorkshopスケジュール

	1 週目					第 2 週					第 3 週					第 4 週					第 5 週					第 6 週					週 7					週 8					第 9 週				
	M	T	W	T	F	M	T	W	T	F	M	T	W	T	F	M	T	W	T	F	M	T	W	T	F	M	T	W	T	F	M	T	W	T	F	M	T	W	T	F					
	共同チームの準備					Fit-to-Standard ワークショップ															デルタデザインワークショップ					最終レビューおよび承認																			
デルタ要件評価、定義、優先順位付け																																													
ワークショップ作成物の完成とサインオフ																																													
チームイネーブルメント																																													
共同ワークショップの準備																																													
必要なドキュメントの準備および整理																																													
組織構造ワークショップ																																													
財務会計 (FI)																																													
管理会計 (CO)																																													
ソーシング、調達、およびサプライチェーン (MM)																																													
販売管理 (SD)																																													
生産 (PP)																																													

※対象とする業務スコープにより期間は変動します

Fit-to-Standard 分析/設計アプローチの成功要因

✓ チェンジマネジメント

- 目指す姿に向かってマインドセットが変えられる人材がIT側および業務側のリーダーとなってプロジェクトを牽引し業務の標準化が難航することを避ける
- 現行業務と比較してGAPを洗い出すのではなくTO BE像（評価作業に入る前に方針があることが望ましい）を意識してGAPの判断をするマインドセット
- プロジェクトの目的を達成するためのKPIが定義されている

✓ ビジネスユーザの参画

- 「使える」テンプレートが構築できるよう、業務側ユーザによって標準化された新プロセスで業務が遂行可能であることを確認する
- 現行を変えることに対して判断できる人材・業務面技術面が理解できている人材の参画

✓ プロセスにフォーカス

- 評価対象のプロセスで業務が遂行できるかを評価する（表示された画面の良し悪しなど業務遂行上クリティカルでない部分でつまづかない）

✓ 標準化対象業務とローカル要件として扱う業務の明確化

- グローバルテンプレートに取り込まずSAP外のアプリを使った方がよいようなローカル要件（各国法要件および個社特有要件）をテンプレートとして無理にアドオンとして取り込むようなことは避ける

推進体制上の成功要因



Business Process
Expert(s)

業務部門ごとのビジネスキーユーザ/ビジネス分野のエキスパート

必要なスキル

- 評価対象ビジネスプロセスに関する知識
- 評価対象ビジネスプロセスについてオーナーシップを持っている

タスク

- Fit-to-Standard 分析ワークショップで顧客のビジネス要件を説明する



IT Expert(s)

業務部門ごとのIT担当者

必要なスキル

- 業務ラインにおける顧客のビジネスプロセスの IT 面についての知識

タスク

- Fit-to-Standard 分析ワークショップで顧客の IT 要件を説明する
- 統合の側面、ベストプラクティス、改善、およびデータ移行アプローチ全体にわたって主要ユーザーに推奨事項/ガイダンスを提供する
- ソリューション設計に必要な情報の提供



Executive

エグゼクティブ

必要なスキル

- 業務ラインにおける顧客のビジネスプロセスに関する知識

タスク

- プロジェクトへの適切なリソースの割当
- 成果物の承認/受入

Enterprise Management Layerを用いたFit to Standardサービス

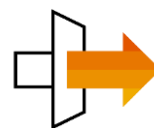
お客様の課題

より迅速なイノベーションの導入と
デジタル変革によるシンプル化

- ビジネスニーズの適用に向け最適なサービスを迅速に導入できない
- 多くのアドオン、分断されたシステムからの移行に伴いコストが肥大化する
- 新規事業に対するITの知識が十分でない
- 多国籍企業で、Fit-to-Standardコンセプトの検証が必要
- 日本におけるSAPのコンサルタントが不足している

Enterprise Management Layerサービスによる
お客様の**成果**

最新テクノロジーの活用



SAP S/4HANA への移行

最新S/4HANA 2020の機能及び
データモデルを検証・評価



より迅速な価値実現のため、

最初から評価できるSAP環境、
ビジネスシナリオのデモ・
テストデータの利用



短期間での迅速な導入 -

リファレンスだけではなくて、
導入コンテンツとして利用

SAPによる支援内容

■ 評価環境準備

質問表の回答に従った環境の構築および動作確認

■ Fit-to-Standard ワークショップ

選択されたビジネスに関して事前設定済システムの標準
プロセスの説明を実施

■ Fit-to-Standard 分析結果整理支援

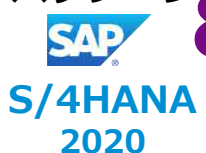
機能要件、技術要件 (WRICEF*)、UI 関連要件、ビジ
ネスルールおよび権限要件を含むデルタ要件 (バックロ
グ) のリストアップ
デルタ要件の優先度付け

■ デルタ要件に対するデザイン支援

優先順位付けされたデルタ要件とそれに対する開発の詳
細を説明し文書化

Enterprise Management Layerとは、 ベストプラクティスをベースとした環境及び導入コンテンツのSAPサービス

パッケージ



&



製品ベストプラクティス
+ 経験による設定

&



SAP Fiori
有効化

&



コンテンツ



サービス
パッケージ



リファレンス環境
(System Image)



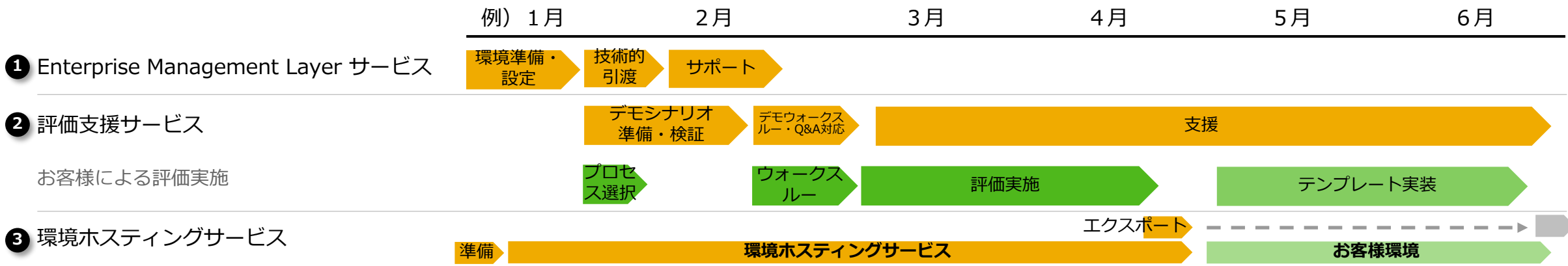
デモ及びテスト
ガイド等



バックログの
整理

サービス提供例

(凡例) お客様主体作業
SAP主体作業



① Enterprise Management Layerセットアップサービス スcope

□ システム準備

- 選択された5カ国のS/4HANAベストプラクティス及びFioriアプリケーションの適用により、標準ベースライン作成
- IFRSベースの元帳設定等、**多国籍企業向けの追加設定**を実施
- Solution Managerの**コンテンツ**（ビジネスシナリオ、デモ・テストスクリプト）の提供

□ 動作確認

- 米国を含む環境にて、米国の英語デモスクリプトに従って、ビジネスプロセスをテスト

□ 基本KT（ナレッジトランスファー）

- Enterprise Management Layer環境へのアクセス方法、基本マスタ、デモに関する説明会（約2～3時間）を実施

② 評価支援サービス スcope

□ シナリオ準備及び検証

- 40プロセス ※に対して、日本国及び日本語のデモシナリオについてデータ準備及び機能と内容の動作検証
※選択できる範囲は補足資料をご覧ください
- 主要なプロセスに対して、デモを実施（ウォークスルー）

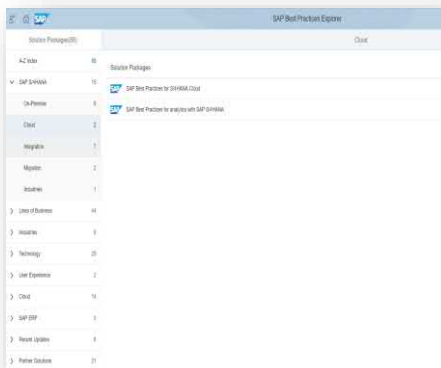
③ 環境ホスティングサービス

□ サーバの構築及び管理

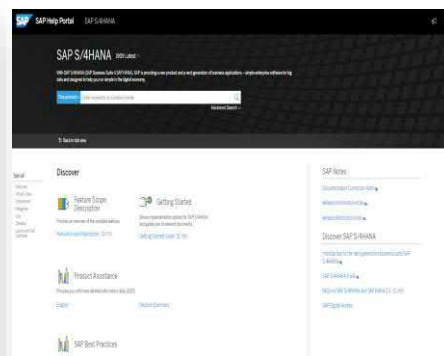
- お客様の評価実施のための、S/4HANAサンドボックス環境、及びAdobe Document Serviceサーバーの構築
- 評価作業が完了した後にEnterprise Management Layer環境のエクスポート

詳細情報参考リンク

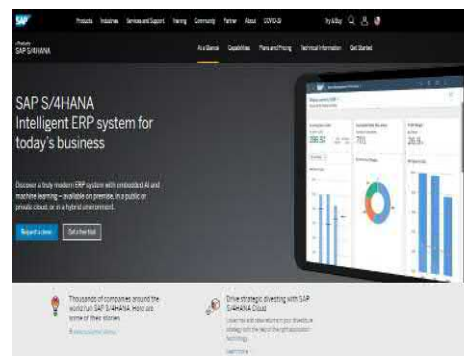
SAP Best Practices Explorer



SAP ヘルプポータル



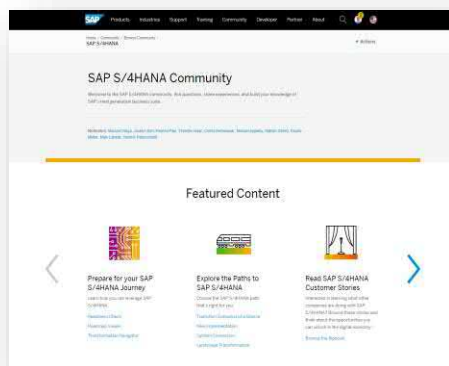
SAP S/4HANA トライアル



SAP S/4HANA ロードマップ



SAP S/4HANA Cloud S/4HANA コミュニティ



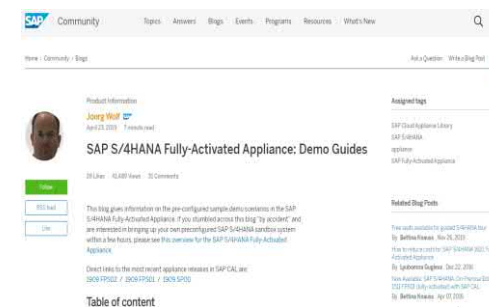
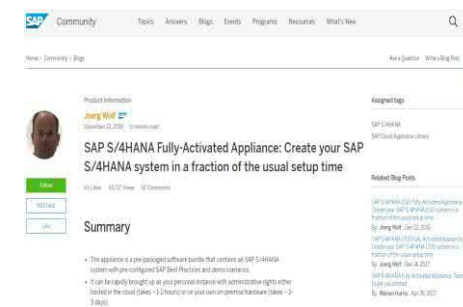
トランスフォーメーションナビゲーター



SAP Training and Adoption

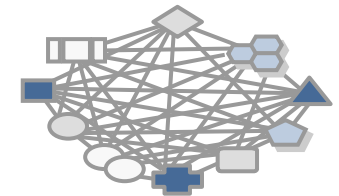
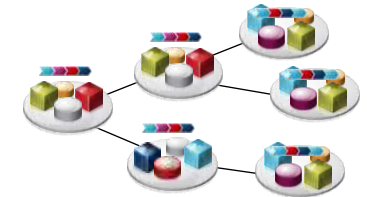


ブログ : SAP S/4HANA Fully-Activated Appliance Fully-Activated Appliance デモガイド

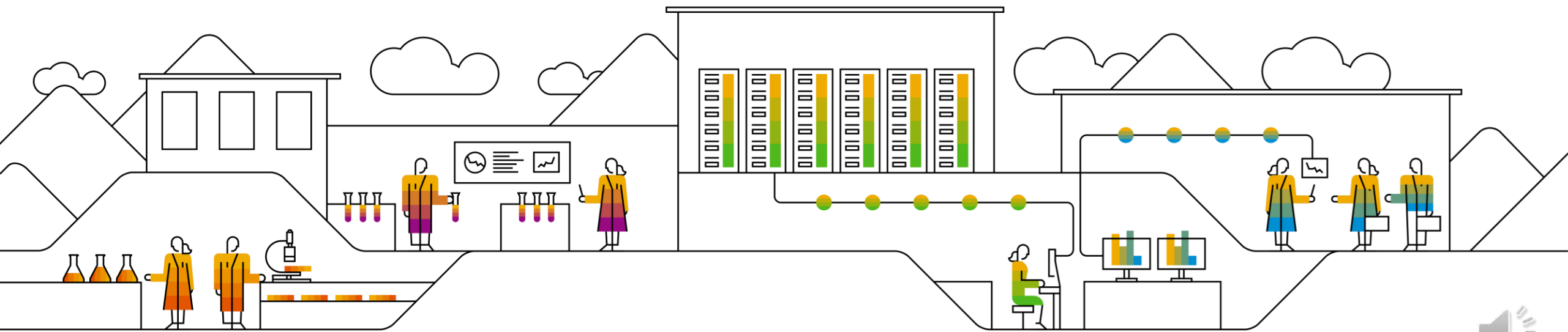


本日のまとめ

- ❖ グローバル拠点へのシステムの展開においてグローバルテンプレートの構築は必須です。
- ❖ Enterprise Management LayerはSAP Best Practicesをベースとしたグローバルテンプレート構築を効率的に行うためのサービスです。
- ❖ SAPサービスではFit-to-standardアプローチを用いたテンプレート構築支援を行っています。



補足資料





ビジネスプロセススコープ [標準] - 財務

会計管理および決算処理

1GI	総勘定元帳配分周期
1GO	小口現金出納帳
1ZT	品目価格変更および在庫金額の管理
2FD	受注伝票の会計管理
2OO	外部税監査
2QY	財務の固定資産管理向け SAP Fiori 分析アプリ
BEI	期末処理プラント
BEJ	年次処理の在庫評価
BF7	保全指図の期末処理
BFH	建設仮勘定
BGC	財務の総勘定元帳向け SAP Fiori 分析アプリ
J58	会計管理および決算処理
J62	固定資産管理
2VB	購買発注の見越/繰延
40Y	会社間照合処理 *

SAP Best Practices を拡張したスコープアイテム:

AC01	拡張パラレル会計
IC40	会社間照合 (* 40Yに対応する拡張)
LOC01	国依存機能

コスト管理および収益性分析

1HB	ファイルからの財務計画データアップロード
2I3	未確定債務管理
2QL 1	配分
34B	統計販売条件
BEG	標準原価計算
BEV	内部指図 (実績)
J54	間接費会計
J55	収益性および原価分析

企業リスクおよびコンプライアンス

1W8	法令管理
1WC	インバーゴ管理
2U3	関税番号および統計品目コード
BDT	域内取引処理**

AC01 は以下のシナリオに対する拡張

1GA	会計管理および決算処理 グループ元帳 IFRS
1GB	固定資産管理グループ元帳 IFRS
1GF	建設仮勘定 グループ元帳 IFRS

財務業務

19M	口座振替
1JT	ロックボックス (US、CA)
2JB	財務会計向け SAP Fiori 分析アプリ
2PD	支払期日超過債権のプロビジョニング
2UT	補完請求書 - 価格設定 (BR のみ)
2UV	複合請求書 - 商品およびサービス明細 (BR のみ)
2UW	他社の代理での商品納入 (BR のみ)
J59	債権管理
J60	債務管理
BD6	基本与信管理

財務/資金管理

BFA	基本銀行口座管理
BFB	基本現金処理
1EG	ファイルインタフェースによる銀行統合

ローカリゼーションには、SAP Best Practices に基づく標準 SAP コンテンツが反映されています。

注記: すべてのスコープアイテムがすべての国で利用できるわけではありません。 27

** EU のみ対応するシナリオ



ビジネスプロセススコープ [標準] – 製造および資産管理

生産エンジニアリング

- 3LO 生産の製造 BOM 変更
- 3LP 生産の製造 BOM 一括変更

生産作業

- 1BM 受注生産 半製品の計画および組立
- 1E3 かんばん生産管理方式による生産供給での製造
- 2EM 在庫から得意先へのジャストインタイム供給
- 2QW 製造単位の分析: 計画/実績製造原価
- 2UG 見込生産 - 製造指図に基づくプロセス生産
- 3L7 連産品および副産物での見込生産 - プロセス生産
- 3OK 受注生産 - プロセス生産
- 3UK インバウンド貯蔵タンク管理 - プロセス生産
- 3UL サイロ品目の見込生産 - プロセス生産
- 42N 残存分によるタンクトレーラ補充
- 4B3 かんばんによる品目補充 - 内製
- 4B4 かんばんによる品目補充 - 在庫転送
- BJ5 見込生産 ディスクリート製造
- BJE 受注生産 最終製品の販売および最終組立
- BJH 見込生産 繰返生産
- BJK PP 外注 外注工程
- BJN リワーク処理 - 在庫 - 半製品
- BJQ リワーク処理 - 仕掛品
- BMV 外注

生産計画

- 31L 生産能力評価
- 3LQ 生産能力平準化 (ライブキャッシュが必要)
- J44 資材所要量計画

品質管理

- 1E1 ディスクリート製造における品質管理
- 1FM 調達の品質管理
- 1MP 販売の品質管理
- 1MR 在庫処理の品質管理
- 2F9 サプライヤに対するクレームの品質管理
- 2FA 得意先からのクレームの品質管理
- 2QN 不適合管理
- 2QP 内部障害の品質管理
- 2V0 品質管理向け SAP Fiori 分析アプリ

保全管理

- BH1 修正保全
- BH2 緊急保全
- BJ2 定期保全

ローカリゼーションには、SAP Best Practices に基づく標準 SAP コンテンツが反映されています。

注記: すべてのスコープアイテムがすべての国で利用できるわけではありません。



ビジネスプロセススコープ [標準] - エンジニアリング、販売、およびサービス

製品エンジニアリング

- 1NR 設計 BOM バージョン管理
- 1R3 設計 BOM 変更マスタ管理
- 1R5 設計 BOM 一括変更
- 22P 文書管理

受注および契約管理

- 1B6 販売レポート処理
- 1BS 販売向け SAP Fiori 分析アプリ
- 1EZ クレジットメモの処理
- 1F1 デビットメモ処理
- 1IQ 販売引合
- 1IU 得意先受託品/預託品
- 1MC 複合料金計算
- 1MI 受注を参照しない出荷処理
- 1O0 販売の計画アプリ
- 1Z3 仕入先直送返品 of 促進
- 2EQ サービス販売
- 2ET 非在庫品目の受注処理
- 2QS 販売の分析: 中央在庫 (返品あり)

受注および契約管理

- 2TT 販売手数料 - 外部営業員
- 31Q 販売キットの受注処理
- 3TE 非在庫品目の返品受注処理
- BD3 仕入先直送を利用した受注処理 - 出荷通知あり
- BD9 在庫販売
- BDA 無償出荷
- BDD 得意先返品
- BDG 得意先見積
- BDH ワンタイム得意先による受注入力
- BDK 仕入先直送を使用した販売処理 (出荷通知なし)
- BDN 受注固有調達による非在庫品目の販売
- BDQ デビットメモによる請求書修正プロセス
- BDW 要返却処理
- BKA 無償品処理
- BKJ 得意先前受金を伴う受注処理
- BKK 受注フルフィルメントの監視
- BKL クレジットメモによる請求書修正プロセス
- BKN 受注から入金パフォーマンス監視 (クラウドでは無効)
- BKP 迅速な返品
- BKX 受注処理 SEPA 口座振替処理**
- BKZ 請求書一覧および一括請求を伴う受注処理
- I9I 販売契約管理

セールスフォースサポート

- 41V プリセールス管理

サービスオペレーションおよびプロセス

- 426 サービス契約管理
- 43B サービス管理概要
- 41W インタラクティブセンターサービス依頼管理
- 41Z サービスオーダー管理
- 4Q5 ソリューション見積

ローカリゼーションには、SAP Best Practices に基づく標準 SAP コンテンツが反映されています。

注記: すべてのスコープアイテムがすべての国で利用できるわけではありません。 29

** EU のみ対応するシナリオ



ビジネスプロセススコープ [標準] – ソーシング、調達、およびサプライチェーン

在庫

4LU 実地棚卸 - 循環棚卸

BGG 在庫および
倉庫管理向け SAP Fiori 分析アプリ

BMC コア在庫管理

BMK サプライヤ返品

BML 実地棚卸検数および調整

ロジスティクス品目 ID

4MM 荷役単位管理

ソーシングおよび契約管理

1XF 価格依頼

BMD 購買契約

サプライヤ管理

19C 調達の活動管理

19E サプライヤ分類およびセグメンテーション

SL4 サプライヤ評価およびパフォーマンス監視

消費財調達

18J 購買依頼

22Z サービス調達

2LG 仕入先受託品

2NX 外注調達の分納契約

2NY 受託品調達の分納契約

2R7 購買リポート処理

2TW 補足調達機能

2TX 入荷伝票ありの直接調達

41F パイプライン品目の調達

BMK サプライヤ返品

BMR 調達における分納契約

BMY 外注

BNX 消耗品目購買

J45 直接材調達

調達分析

1JI 調達のリアルタイムレポートおよび監視

2QU 購買発注可視化および調達支出

請求書管理

2UU 仕入先への要返却梱包材



ビジネスプロセススコープ[°] [標準] – 共通トピック

データベースおよびデータ管理

- 1I9 SAP S/4HANA のマスタデータカタログ オンプレミス
- 2Q2 ステージングから SAP S/4HANA へのデータ移行
- BH5 ファイルから SAP S/4HANA へのデータ移行

アプリケーションプラットフォームおよびインフラストラクチャ

- 1LQ 出力管理 *
- 1NJ 責任管理
- 1NN ビジネスイベント処理
- 31N 状況処理

タイムレコーディング

- 1FD 従業員統合 SAP S/4HANA イネーブルメント

) Adobe LifeCycle Designer のクライアントインストールが必要



ビジネスプロセススコープ – スコープオプション [SAP Best Practices に基づく]

スコープオプション	スコープアイテム	コメント
[00] 標準範囲 (必須)	標準範囲 として一覧表示されるすべてのスコープアイテム - 国のカスタム固有の削除、グループ通貨および会計年度バリエーションの設定 (S/4 および組込 Fiori ゲートウェイによるシステムランドスケープ設定を含む) を含む	[一部のスコープアイテムはすべての国で利用できるわけではありません]
[01] 実際原価計算	実際原価計算 (33Q)	[追加のソフトウェアライセンスは不要] [BR、CZ、SK では利用不可]
[02] 拡張コンプライアンスレポート	拡張コンプライアンスレポート (1J2)	[HK、NZ では利用不可]
[03] 拡張債権管理	拡張与信管理 (1QM) 回収およびクレーム管理 (BFC)	[すべての国] [BR では利用不可]
[04] 拡張資金管理	拡張銀行口座管理 (J77) 拡張現金処理 (J78) 銀行手数料管理 (200) 拡張資金管理テストサイクル (CLM01*) 資金集中 (CLM02*)	[すべての国]
[05] 不動産管理	リースイン会計 (LA01*) [置換: リースイン会計 (1T6) + リースイン会計 - グループ元帳 IFRS (21P)] リースアウト会計 (21Q) 転貸会計のリースアウト (LA02*) [置換: 転貸会計のリースアウト - グループ元帳 IFRS (2SA) + 転貸会計のリースアウト (2SB)] サービス契約 (21R) 賃貸料の請求書管理 (LA03*)	[BR では利用不可。スコープアイテムの利用可否は国によって異なる]
[06] グループレポート	財務連結のグループ勘定準備 (3AF) グループレポート - 財務連結 (1SG) グループレポート - 計画統合 (28B) グループレポート - マトリクス連結 (3LX)	[すべての国 - 追加のソフトウェアライセンスは不要] [1SG 利用不可: RU] [すべての国] [3LX は BR、PT には利用不可]

* Enterprise Management Layerに固有のスコープアイテム:

注記: ほとんどのスコープオプションでは、追加の専用ソフトウェアライセンスが必要です。*



ビジネスプロセススコープ - スコープオプション [SAP Best Practices に基づく]

スコープオプション	詳細 [含まれるスコープアイテム]	コメント
[11] 拡張倉庫管理 (埋込)	サプライヤからの基本倉庫入荷処理 (1FS) 倉庫の初期在庫アップロード (1FU) 倉庫での実地棚卸 (1FW) 倉庫での補充 (1FY) 倉庫での廃棄処理 (1G0) 得意先への基本的な出庫処理 (1G2) ロット管理によるサプライヤからの倉庫入荷処理 (1V5) ロット管理による得意先への出庫処理 (1V7) 品質管理によるサプライヤからの基本倉庫入荷処理 (1V9) 生産統合 - 倉庫における構成部品消費および入庫 (1VB)	[追加のソフトウェアライセンスは不要] [AT, BR, CZ, DK, FI, ID, IN, KR, MX, NO, PL, PT, RO, RU, SA, SK, TH, TR には使用できません]
[12] 拡張倉庫出荷処理	得意先への拡張倉庫出荷処理 (1VD)	[AT, BR, CZ, DK, FI, ID, IN, KR, MX, NO, PL, PT, RO, RU, SA, SK, TH, TR には使用できません]
[13] 分散倉庫管理 - 技術統合	分散拡張倉庫管理 - 技術統合 ERP (4UA)	[DE および US のみ]
[15] 拡張 ATP	拡張 ATP 処理 (1JW) 基本 ATP 処理 (2LN)	すべての国
[21] 拡張生産計画および日程計画	需要主導型バッファレベル管理 (1Y2) 需要主導型補充計画および実行 (2QI)	[1Y2 BR では利用不可]
[22] 拡張バリエーション選定 * 追加の HANA DB プラグインが必要	バリエーション選定での受注生産 (1YT) 見込生産 (バリエーション選定あり) (21D) バリエーション選定を使用した選定可能 BOM 設定 (22T) バリエーション選定による品目の調達 (2XU) バリエーション選定ありの販売キットの受注生産 (4OC) 仕入先直送を使用した販売処理 (バリエーション選定あり) (4R6)	[2XU, 4OC BR では利用不可] 1YT は PT では利用不可 4R6 DE, US でのみ利用可能
[23] 法人契約管理	法人契約管理向け SAP S/4HANA (1XV)	[RU では利用不可]



ビジネスプロセススコープ - スコープ拡張 [SAP Best Practices には含まれないプロセス]

追加のスコープアイテム (常に含まれます)

AC01 パラレル会計
IC40 会社間照合
LOC01 国依存機能
LOC02_DE ドイツ向けローカリゼーション: E-Bilanz

拡張資金管理 (スコープオプション [04] : 拡張資金管理に常に付属)

CLM01 拡張資金管理テストサイクル
CLM02 資金集中

リース会計 (スコープオプション [05] : 不動産管理に常に付属)

LA01 リースイン会計
LA02 転貸会計のリースアウト
LA03 賃貸料の請求書管理

[VP01] 会社間プロセス (2 カ国) (要求に応じて)

IC21 中央在庫からの販売
IC22 国内在庫からの販売
IC23 会社間デビットメモおよびクレジットメモ
IC40 会社間照合

財務のスコープが限定されている国のみ (要求に応じて)

エストニア (EE)
ラトビア (LV)
リトアニア (LT)

[VP02] 会計のプロジェクトシステム (要求に応じて)

PS10 間接費プロジェクト
(統計プロジェクトおよび収益プロジェクトを含む)
PS11 設備投資プロジェクト